

海軍公報 (部内限) 第三千二百一十一號

昭和十四年五月十九日(金)
海軍大臣官房

○ 辭 令

海軍主計少佐 増澤 英一
第三課勤務ヲ命ス(十七日 海軍省經理局)

海軍技師 山崎 新一
技術部第三課勤務ヲ命ス

同 千葉 宗三郎
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上 十五日 海軍航空本部)

海軍技手 古川 清

技術部第二課勤務ヲ命ス
主トシテ在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸
監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(三十日 同)

○ 雜 款

○軍艦駒橋行動豫定

地 名 着 發
横 須 賀 五月十六日

横 須 賀	五月二十八日	六月一日
サイパン	六月十三日	十四日
横 須 賀	六月二十一日	二十五日
油 津	七月三日	七月四日
横 須 賀	七月十五日	二十五日
ポナペ	八月九日	八月十日
横 須 賀	八月二十五日	

○郵便物發送先
軍艦駒橋宛

五月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ

同	三十日迄ニ	同	横須賀郵便局留置
同	六月二十日迄ニ	同	横須賀郵便局留置
同	六月二十四日迄ニ	同	横須賀郵便局留置
同	七月三日迄ニ	同	油津
同	七月十四日迄ニ	同	横須賀郵便局留置
同	七月二十四日迄ニ	同	横須賀郵便局留置
同	八月二十四日迄ニ	同	横須賀郵便局留置
其ノ後ハ			横須賀

○高等科學生入校期日

海軍公報 (部内限) 第三千二百一十一號

昭和十四年五月十九日

五四七

0649

海軍公報（部内限）第三千二百一十一號 昭和十四年五月十九日

五四八

不日任命セラレヘキ本校高等科學生始業式ヲ六月六日
（火）午前舉行可致ニ付其ノ前日中ニ着校セシメラレ度
（海軍砲術學校）

○艦船所在

▲印ハハカ
指定ヲ要セズ

○五月十八日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥▲
嚴島▲多摩▲八雲▲木曾▲沖島▲山城▲
愛宕▲利根▲長門▲赤城▲鳥海▲
摩耶▲那珂▲劍埼▲蒼龍▲

【長浦】

島風▲灘風▲夏雲▲峯雲▲朝雲▲
山雲▲曉▲村雨▲春雨▲夕立▲
五月雨▲朧▲潮▲天霧▲朝霧▲
夕霧▲

伊六▲伊二四▲伊五▲伊七

富士▲膠州▲洲崎▲鳴戸▲尻矢

【石川島】

(飛龍) (高崎)
沙風▲帆風▲沖風▲沼風▲電▲雷▲響▲
狹霧▲漣▲

呂五四▲呂五五▲呂五六▲呂五七▲
呂五八▲伊二三▲伊四

【浦賀】

北上▲

【館山】

霞▲
(霞) (不知火) (早潮) (掃一)▲
澤風▲

【大湊】

葵▲

【函館】

【大泊】

【吳】

【和伊水道】

【大阪】

【神戶】

吳竹▲巨菊▲

矢矧▲淺間▲淀▲比叡▲古鷹▲神通▲

日向▲鳳翔▲加古▲最上▲伊勢▲千代田▲

龍野▲三隈▲白鷹▲扶桑▲鬼怒▲大鯨▲

龍驤▲長鯨▲大井▲

夕顔▲若竹▲早苗▲薄▲藤▲葛▲萩▲

芙蓉▲刈萱▲朝顔▲初雪▲白雪▲吹雪▲

東雲▲叢雲▲薄雲▲

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲

呂二八▲呂五九▲伊五一▲伊六六▲

伊六七▲伊七〇▲伊二二▲

伊二一▲伊六二▲伊六一▲伊六四▲

伊一▲伊二▲伊三▲伊五五▲伊五三▲

伊五四▲伊七五▲伊七四▲伊七三▲

伊七一▲伊七二▲伊八▲

雁

攝津▲隱戸▲間宮

(伊一五) (伊一六)▲

矢風

天龍▲

卯月▲如月▲

(伏見) (黒潮) (夏潮)▲

伊六八▲伊五七▲伊五六▲伊五八▲

(初風) (伊二〇) (伊二二)▲

海軍公報(部内限)第三千二百十一號

昭和十四年五月十九日

五四九

【相生】 神風▲、波風▲

早柄▲

(初鷹)▲

呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、皐月▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

(陽炎)▲(親潮)▲

那智▲、常磐▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登▲、呂

龍田▲、千歳▲、榛名▲、磐手▲、八重山▲、足柄

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、蓬▲、菱▲

▽霧島▲、金剛▲、▽阿武隈▲、由良▲、▽川内

▽葦▲、梯▲、楡▲、▽水無月▲、文月▲、長月▲

▽大潮▲、満潮▲、朝潮▲、荒潮▲、▽彌生▲、夕月▲

▽三日月▲、菊月▲、睦月▲、望月▲、▽若葉▲、子日▲

▽初霜▲、初春▲、▽江風▲、涼風▲、山風▲、海風▲

▽追風▲、疾風▲、峯風▲

室戸、知床

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六八、呂六三、呂六六、

呂六五、呂六七、伊六九▲、伊六五、

伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三、

伊真鶴、千鳥、友鶴、初雁

▽掃一〇、掃八、掃九

敷島▲、鶴見、佐多

(明石)、(雪風)▲(伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲

(筑摩)▲

呂六四

【鎮海】 綾波、浦波

呂六四

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、口瑞穂、球磨、口妙高、

名取、▽長良、▽嵯峨、勝力、夕張、駒橋

栗、梅、蓮、▽夕風、朝風、▽松風、朝風、

▽白霧、有明、夕暮、時雨、▽秋風、羽風、

太刀風、夕風

伊六三、

▽隼、鵬、鶴、鴻、鳩、雉、鶯

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、

▽掃一七、掃一八、掃七

朝日、野鳥、石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發—吳—)

蔽 (十七日江田内發—廣島灣—)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十二號

昭和十四年五月二十日(土)

海軍大臣官房

○通牒

軍需第一四七號

昭和十四年五月十九日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

艦營需品外國軍艦旗保管ニ關スル件照會

大正十年四月軍需第六〇八號通牒ニ依ル首題ノ件左記中「ベルシヤ」ヲ「イラン」ニ改メ「アビシニヤ」及其ノ數量ヲ削除相成度

大正十年四月軍需第六〇八號ノ本件ハ艦營需品燃料取扱例規一八五頁參照

航本機密兵飛第三二六號

昭和十四年五月十九日

海軍航空本部長

横須賀

海軍軍需部長殿

吳

佐世保

舞鶴要港部軍需部長

海軍公報(部内限) 第三千二百十二號

昭和十四年五月二十日

五五一

兵器附着拂整理ノ件通牒(飛行長主管)
在庫ノ左記兵器ヲ各附記ニ依リ附着拂整理スベシ

記

品名	記事
三番通常爆彈 二型 降下爆撃用射表	在庫供用竝ニ貸與中ノ爆彈射表一類 一冊ニ對シ上記射表追加表ヲ各一部宛附着拂整理ノコト
九七式六番陸用爆彈 水平爆撃用射表追加表	在庫供用竝ニ貸與中ノ爆彈射表一類 一冊ニ對シ上記射表追加表ヲ各一部宛附着拂整理ノコト
六番陸用爆彈	同
六番通常爆彈 二型	同
二五番陸用爆彈	同
二五番通常爆彈 二型	在庫供用竝ニ貸與中ノ爆彈射表二類 一冊ニ對シ上記追加表ヲ各一部宛附着拂整理ノコト
五〇番通常爆彈 二型	同
八〇番通常爆彈 一型	同
追テ爆彈射表ヲ供用竝ニ貸與受中ノ艦船部隊、學校	

海軍公報(部内限) 第三千二百二十二號 昭和十四年五月二十日

五五二

等ニ於テハ各所管軍需部ヨリ速ニ新射表追加表ノ配給ヲ受ケラレ度

○ 辭令

氣象臺技師 北田 道男
支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ金百五拾圓ヲ贈與ス(特種軍省)
支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(海軍省)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス
南支海軍特務部ニ於ケル事務囑託
下村 如道
室田 早苗
自今報酬年額參千六百圓ヲ給ス(以上五月同日同)

○ 雜款

○軍艦筑摩行動豫定
地名 着
長崎 五月二十日 發
横須賀 五月二十二日
○郵便物發送先

第一根據地隊宛
自今 佐世保郵便局氣付 特務艦朝日

軍艦筑摩宛
自今 第二艦隊ニ同シ

特設運送船金龍丸宛
自今 佐世保

○事務所撤去
筑摩艦裝員事務所ヲ五月二十日撤去ス

○正誤
本月十六日辭令欄廣瀬義信、宮脇茂ノ辭令文中「浦賀」ハ「東京」ノ誤

○ 艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○五月二十日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥▲

嚴島▲多摩▲八雲▲木曾▲沖島▲山城▲

愛宕▲利根▲長門▲赤城▲鳥海▲

摩耶▲那珂▲劍埼▲蒼龍▲

島風▲灘風▲夏雲▲峯雲▲朝雲▲

山雲▲曉▲村雨▲春雨▲夕立▲

五月雨▲朧▲潮▲天霧▲朝霧▲

夕霧▲

伊六▲伊二四▲伊五▲伊七

富士▲膠州▲洲埼▲鳴戸

(飛龍) (高崎)

汐風▲帆風▲沖風▲沼風▲電▲雷▲響▲

狹霧▲漣▲

呂五四▲呂五五▲呂五六▲呂五七▲

呂五八▲伊一二三▲伊四

野風▲

(掃一二)▲

北上▲

曙▲

(霞) (不知火) (早潮) (掃一二)▲

澤風▲

葵▲

【函館】

吳竹▲伊菊▲

【大泊】

大泊

【吳】

矢矧▲淺間▲淀▲比叡▲古鷹▲神通▲

日向▲鳳翔▲加古▲最上▲伊勢▲千代田▲

熊野▲三隈▲白鷹▲扶桑▲鬼怒▲大鯨▲

龍驤▲長鯨▲

夕顔▲若竹▲早苗▲薄▲藤▲葛▲萩▲

芙蓉▲刈萱▲朝顔▲初雪▲白雪▲吹雪▲

東雲▲叢雲▲薄雲▲

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲

呂二八▲呂五九▲伊五一▲伊六六▲

伊六七▲伊七〇▲伊一二三▲

伊一二一▲伊六二▲伊六一▲伊六四▲

伊五一▲伊二▲伊三▲伊五五▲伊五三▲

伊五四▲伊七五▲伊七四▲伊七三▲

伊七一▲伊七二▲伊八▲

雁▲

攝津▲隱戸▲問宮▲

(伊一五) (伊一六)▲

天龍▲

卯月▲如月▲矢風▲

(伏見) (黒潮) (夏潮)▲

伊六八▲伊五七▲伊五六▲伊五八▲

(初風) (伊二〇) (伊二一)▲

【神戶】

海軍公報(部内限)第三千二百十二號

昭和十四年五月二十日

五五三

【相生】 神風▲、波風▲

早柄▲

【玉】 (初鷹)▲

呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、阜月▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

(陽炎)▲、(親潮)▲

【佐世保】

那智▲、常磐▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂、龍田、千歲、榛名、磐手、八重山、足柄

霧島、金剛、阿武隈、由良、川内

梨、竹、樞、桃、柳、檜、萆、蓬、菱、

葦▲、柿▲、楡▲、水無月、文月、長月、

大湖▲、滿潮▲、朝潮、荒潮、彌生、夕月、

三日月、菊月、睦月、望月、若葉、子日、

初霜、初春、江風、涼風、山風、海風、

追風、疾風▲、峯風▲

室戸、知床

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六八、呂六三、呂六六、

呂六五、呂六七、伊六九▲、伊六五、

伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三

真鶴、千鳥、友鶴、初雁

呂掃一〇、掃八、掃九

敷島▲、鶴見、佐多

【長崎】 (明石)、(雪風)▲、(伊一八)▲

羽黒▲

【鎮海】 (筑摩)▲

呂六四

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、

名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、駒橋、

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、

大刀風、夕風

伊六三、

隼、鴨、鶴、鴻、鳩、雉、鷺

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、

掃一七、掃一八、掃七

朝日、野島、石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發—吳—)

掖 (十七日江田内發—廣島灣—)

大井 (十九日吳發—大阪—)

尻矢 (十九日横須賀發—羅府—)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十三號

昭和十四年五月二十二日(月)

海軍大臣官房

○ 辭 令

遞信技師	小川 照義
同	松岡 圭介
同	翠川 信遠
同	村井 愛太郎
遞信屬	關谷 重敏
遞信書記	増子 庚子郎
遞信技師	杉崎 嘉一
同	長谷 米次
同	安部 定雄
臺灣總督府交通局技師	大畠 雄次
同	寺畑 松太郎
同	椿阪 登雄
臺灣總督府交通局技師	大森 良康
海軍省事務ヲ囑託ス(三三海軍省)	
氣象臺技師	金川 治三郎
支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額貳千五	

(各通)

百貳拾圓ヲ贈與ス(六四同)

○ 雜 款

○第十九驅逐隊行動豫定

驅逐艦綾波

地名

着

發

鎮 仁 海

鎮 南 川

鎮 南 浦

鎮 海

驅逐艦浦波

地名

着

發

鎮 仁 海

鎮 南 浦

鎮 海

鎮 海

○郵便物發送先
 第十九驅逐隊司令及驅逐艦綾波宛
 五月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ 仁 川

海軍公報(部内限) 第三千二百十三號 昭和十四年五月二十二日

五五五

<p>同 二十八日迄ニ 同 鎮南浦 其ノ後ハ 鎮海</p>	<p>驅逐艦浦波宛 五月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ 鎮南浦 同 二十八日迄ニ 同 仁川 其ノ後ハ 鎮海</p>	<p>第六驅潛艇宛 自今 佐世保防備隊内</p>	<p>特設運送船旭光丸宛 自今 佐世保</p>	<p>○事務所撤去 第六驅潛艇艇裝員事務所ヲ五月二十日撤去セリ</p>	<p>○残務整理 第六號驅潛艇艇裝ニ關スル残務整理ハ自今第六號驅潛艇ニ於テ行フ</p>	<p>○高等科學生入校期日 本校第六期高等科學生ハ六月六日始業ニ付同日午前九時迄ニ入校セシメラレ度 (海軍工機學校)</p>	<p>○訂正</p>
<p>本月十八日訂正欄中「二月二十八日」ハ「二月三十一日」ト訂正ス</p>							

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十二日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥、

嚴島、多摩、▽八雲、木曾、▽沖島、山城、

愛宕、利根、▽長門、▽赤城、▽鳥海、

摩耶、▽那珂、▽劍崎、▽蒼龍▲

島風▲灘風▲▽夏雲、峯雲、朝雲▲

山雲▲▽曉▲▽村雨▲春雨▲夕立▲

五月雨、▽朧、潮、▽天霧▲朝霧▲

夕霧▲

伊六▲伊一二四▲▽伊五▲伊七▲

富士▲膠州、洲崎▲鳴戸

(飛龍)、(高崎)

【長浦】

沙風、帆風、沖風、▽沼風、▽電、雷、響、

狹霧、漣

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、伊一二三、伊四

野風▲

(掃一二)▲

【石川島】

北上▲

【浦賀】

曙▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

葵▲

【函館】

吳竹▲▽菊▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲古鷹▲神通▲日向▲

鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田▲熊野、

三隈、▽白鷹、扶桑▲鬼怒、▽大鯨▲龍驤

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

芙蓉、刈萱、朝顔、▽初雪▲白雪▲吹雪▲

▽東雲▲叢雲▲薄雲▲

呂五一、呂五三、呂二六▲呂二七▲

呂二八▲呂五九▲伊五一、伊六六▲

伊六七▲▽伊七〇、▽伊一二一、

伊一二二、▽伊六二、伊六一、伊六四、

伊六一、伊二、伊三、▽伊五五、伊五三、

伊五四、▽伊七五、伊七四▲▽伊七三、

伊七一▲伊七二▲伊八▲

雁

攝津、隠戸、間宮

(伊一五)▲(伊一六)▲(伊九)▲

天龍▲大井

卯月▲如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】

▽伊六八▲▽伊五七、伊五六▲伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】

神風▲波風▲

早鞆▲

(初鷹)▲

海軍公報(部内限)第三千二百十三號

昭和十四年五月二十二日

五五七

【玉】 呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、阜月▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

(陽炎)▲、(親潮)▲

【佐世保】

那智▲、常磐▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登▲、呂

龍田▲、千歲▲、榛名▲、磐手▲、八重山▲、足柄

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、蕁▲、蓬▲、菱▲、

大湖▲、滿潮▲、朝潮▲、荒潮▲、荒潮▲、彌生▲、夕月▲、

三日月▲、菊月▲、睦月▲、望月▲、若葉▲、子日▲、

初霜▲、初春▲、江風▲、涼風▲、山風▲、海風▲、

追風▲、疾風▲、峯風▲

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六八、呂六三、呂六六、

呂六五、呂六七、伊六九▲、伊六五、

伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三

伊真鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一〇▲、掃八、掃九

敷島▲、鶴見、佐多

(明石)、(雪風)▲、(伊一八)▲

羽黒▲

【長崎】

【作業地】

呂六四

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、

名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、駒橋

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、

太刀風、夕風

伊六三、

隼、鴨、鵠、鴻、鳩、雉、鷺

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、

掃一七、掃一八、掃七

朝日、野島、石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳へ)

掖 (十七日江田内發一廣島灣へ)

尻矢 (十九日横須賀發一羅府へ)

筑摩 (二十日長崎發一横須賀へ)

室戸 (二十日佐世保發一舞鶴へ)

知床 (二十日佐世保發一吳へ)

大泊 (二十日大泊發一太湊へ)

長鯨 (二十一日吳發一直江津へ)

綾波 (二十一日鎮海發一仁川へ)

浦波 (二十一日鎮海發一鎮南浦へ)

矢風 (二十一日大阪發一吳へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十四號

海軍大臣官房

昭和十四年五月二十三日(火)

○令 達

官房機密第三〇九三號

機 要

昭和十三年官房機密第五〇二六號ニ依リ昭和十四年度ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス
昭和十四年五月二十三日

海 軍 大 臣

表中普通科電信術ノ部徴兵後期ノ項ヲ左ノ如ク改ム

後期

一一〇

九〇

八〇

二八〇

(昭和十三年九月十五日本欄参照)

○通 牒

官房第二六一〇號ノ四

昭和十四年五月二十三日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫眞撮影ニ關スル件通牒

來五月二十八日兵庫縣川邊郡神津村大阪第二飛行場ニ於テ命名式舉行豫定ノ報國號飛行機ノ要目發表範圍ニ關シテハ左記ニ依ルコトト御了知相成度

記

一、報國號飛行機要目發表範圍

(イ) 報國第二六九號(第一新田號)

機 種 陸上攻撃機

全 幅 二五・〇米

全 長 一六・〇米

全 高 三・七米

(ロ) 報國第二六七號(帶谷號)

同 第二七二號(應取アルミ號)

機 種 艦上爆撃機

座 席 二

全 幅 一一・四米

全 長 九・四米

海軍公報(部内限)第三千二百十四號

昭和十四年五月二十三日

五五九

全高 三・九米

(ハ) 報國第二七〇號(第二新田號)

同 第二七一號(久保惣號)

同 第二七八號(大阪瓦斯號)

同 第二八一號(福助號)

同 第二八八號(紙谷號)

機種 艦上戦闘機

座席 一

全幅 一一・〇米

全長 七・五米

全高 三・〇米

二、寫眞撮影 特ニ許可ヲ得タルモノノ外禁止

軍務三機密第一〇一號

昭和十四年五月二十日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

亞麻仁油ノ取扱ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ大正六年官房機密第二九三六號次官申進(諸例則卷三、四〇八頁參照)ノ次第モアリテ部内一般ニ相當徹底セルヤニ認メ居リ候處過般橫須賀海軍軍需部箱崎亞麻仁油庫ノ火災原因ハ同日亞麻仁油

納入検査ニ使役セル人夫ノ使用セル該油ノ附着セル木綿層布衣類等ノ不始末ニ依ルモノト推定セラレアリ自今亞麻仁油ノ取扱ニ關シテハ之ガ直接作業ニ從事スル者ノ指導監督ニ一層ノ留意ヲ致シ此種事故ノ絶無ヲ期スル様一般ノ注意ヲ喚起セシメラル様可然取計相成度

追テ今回ノ事故調査ニ關聯シ調査シ得タル左記ノ事項ハ取扱上ノ參考ト致度

記

一、亞麻仁油附着ノ木綿層布ハ比較的低温(攝氏一〇度附近)ナル場合ニ於テモ發火スルコト

二、亞麻仁油附着ノ被服ノ取扱モ等閑ニ附シ得ザルコト

三、亞麻仁油ノ附着セル布片等ヲ手ニテ揉ムトキハ温度上昇速カナルコト

四、布片等ニ附着セル亞麻仁油比較的少量ナル場合ト雖モ之ヲ適當ニ保温セラルル如キ條件ノ下ニテハ發火スルコト

艦本機密第一〇三五二號

昭和十四年五月二十二日

海軍艦政本部長

<p>横須賀、吳、佐世保海軍工廠長殿 複式水中信號機ニ劍押込完了檢知裝置 附加ノ件通牒 首題ノ件左記ニ依リ施行スベシ</p>	<p>一、工事要領 別表記載艦船ニ裝備ノ首題兵器ヲ別圖ニ依リ一部改 造ヲ行ヒ劍押込完了檢知裝置ヲ附加スルモノトス 尙改造ニ要スル部品ハ一括吳廠ニテ製作ノ上各廠ニ 送付スルモノトス 二、時期 時機ヲ得次第成ルベク速ニ 三、費目 軍事費、造船造兵及修理費、造兵費修理(線)別途 配付豫算内支辨トス (別表(系、別項有略))</p>	<p>○雜款 ○旗艦變更 第一根據地隊司令官ハ五月十八日旗艦ヲ飛鳥ヨリ第六 號掃海艇ニ變更セリ</p>	
<p>○司令驅逐艦變更 第二十二驅逐隊司令ハ五月二十日司令驅逐艦ヲ水無月 ヨリ文月ニ變更セリ</p>	<p>○軍艦多摩行動豫定 地名 着 發 横須賀 五月二十四日 宮古 五月二十七日 八戸 五月二十七日 舞鶴 三十一日</p>	<p>○驅逐艦吳竹行動豫定 地名 着 發 函館 五月三十日 横須賀 六月三日 吳 五月五日</p>	<p>○郵便物發送先 軍艦多摩宛 五月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ 同 二十八日迄ニ同 其ノ後ハ 第二十二驅逐隊及司令宛 自今 主計長宛 宮古 八戸 東舞鶴 宮古 八戸 東舞鶴 文月 長月 長月</p>

海軍公報(部内限)第三千二百十四號 昭和十四年五月二十三日

驅逐艦水無月宛

五月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 廣島縣御調郡土生町

第二十二驅逐隊司令宛ノ書類ニシテ驅逐艦水無月ニ
モ關係アルモノハ寫ヲ直接同宛送付相成度

驅逐艦吳竹宛

五月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 函
六月二日迄ニ同 横須賀
其ノ後ハ 吳

特設運送船極東丸宛

六月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

○郵便物發送先ノ件

當廠宛ノ郵便物ニシテ舞鶴郵便局ヨリ廻送セララルルモ
ノ相當多數有之ニ付表記ニ必ズ東舞鶴市トセラレ度
(舞鶴海軍工廠)

(舞鶴海軍工廠)

(艦本機密第一〇三三二號) 別表

昭和十四年五月二十三日海軍公報(部内限)

		艦名		所轄	
		横		吳	
		伊	四		
		伊	五		
		伊	六		
		伊	七		
		伊	七二	伊	六六
		伊	七三	呂	六七
		伊	七四	呂	三三
		伊	七五	迅	三四
		大	鯨		
		長	鯨		
					五九
					六〇
					六五
					六六
					六七
					六八
					六九
					七〇
					七一
					七二
					七三
					七四
					七五

複式水中信號機劍昇降檢知装置附加艦船調

吳

佐

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十三日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷、五十鈴▲陸奥、
嚴島、多摩、八雲、木曾、沖島、山城、
愛宕、長門、赤城、鳥海、摩耶、
利根、筑摩、那珂、劍埼、蒼龍▲

島風▲灘風▲夏雲▲霧▲朝雲▲
山雲▲曉▲村雨▲春雨▲夕立▲
五月雨▲隴▲潮▲天霧▲朝霧▲
夕霧▲矢風▲

伊六▲伊二四▲伊五▲伊七▲
富士▲膠州▲洲埼▲鳴戸▲
(飛龍)▲(高橋)

【長浦】
沙風、帆風、沖風、沼風、電、雷、響、
狭霧、漣

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、
呂五八、伊二三、伊四

【石川島】
野風▲
(掃一二)▲

【浦賀】
北上▲

【館山】
(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

【大湊】
澤風▲
葵▲

【函館】

【吳】

大泊
吳竹▲菊▲
矢矧、淺間、淀、比叡▲古鷹▲神通▲日向▲
熊野、三隈、鳳翔、加古、最上、伊勢、
千代田、白鷹、扶桑▲鬼怒▲大鯨▲
龍驤

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、
芙蓉、刈萱、朝顔、初雪、白雪、吹雪▲

東雲▲叢雲▲薄雲▲霧▲
呂五一、呂五三、呂二六▲呂二七▲
呂二八▲呂五九▲伊五一、伊六六▲
伊六七▲伊七〇、伊一二二、
伊一二一、伊六一、伊六一、伊六四、
伊六一、伊二、伊三、伊五五、伊五三、
伊五四▲伊七五▲伊七四▲伊七三▲
伊七一▲伊七二▲伊八▲

雁
攝津、隱戸、間宮、知床

【大阪】
天龍▲
卯月▲如月▲
(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】
伊六八▲伊五七、伊五六▲伊五八▲
(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】
神風▲波風▲

海軍公報(部内限)第三千二百十四號

昭和十四年五月二十三日

五六三

早朝

(初鷹)

【玉】 呂六二

【因ノ島】 春風、旗風、阜月

【高松】 大井

【江田内】 平戸

【舞鶴】 吾妻、迅鯨

敷波、磯波、白雲

伊五二

(陽炎)(親潮)

【佐世保】

那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、磐手、八重山、足柄、霧島、金剛、阿武隈、由良、川内、梨、竹、樞、桃、柳、檜、蓮、蓬、菱、葦、柿、榆、文月、水無月、長月、大潮、満潮、朝潮、荒潮、瀬生、夕月、三日月、菊月、睦月、望月、若葉、子日、初霜、初春、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六八、呂六三、呂六六、呂六五、呂六七、伊六九、伊六五、伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一〇、掃八、掃九

【長崎】

【鎮海】 呂六四

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、駒橋、栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白鷺、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、太刀風、夕風

伊六三

隼、鶴、鴻、鳩、雉、鷺

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、掃七

朝日、野島、石廊

浦波

長鯨

室戸

尻矢

襟裳

浦波

長波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

浦波

0667

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十五號

昭和十四年五月二十四日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第一七五四號ノ四

授 委

昭和十四年度歳入科目中左ノ通追加ス

昭和十四年五月二十三日

海 軍 大 臣

特 別 會 計

款

項

目

疏

會計科目
電信略號

海軍工廠資金

(材料物品收入)(雜收入)

返納金

アチ

官房機密第三三三五號

昭和二年官房機密第九六三號中別表ヲ左ノ通改ム

昭和十四年五月二十四日

海 軍 大 臣

内令
委任
記載

別表

一、兵器備品

諸要具、試験要具、帆布製履各種、各種二次電池、九十種以下探照燈用反射鏡及前面硝子、携帶電話器、防禦用柵、鐵條網

喇叭及同用總、投射銃用附屬品、測風氣球、定規、兩脚器、送受信機ノ部分品、空中線及關係小兵器、各種電燈(小型ノモノ)、各種接續坐(小型ノモノ)、各種電路接斷器(小型ノモノ)、各種受金、電動送風機(卓上用)

二、消耗兵器

揚子江方面ニ於テ日常必要トスルモノノ一部、土囊

昭和二年官房機密第九六三號ハ上海ニ於テ軍需品供給ノ件ナリ

○通 牒

軍需機密第八六號

昭和十四年五月二十三日

海 軍 省 軍 需 局 長

海軍公報(部内限) 第三千二百十五號

昭和十四年五月二十四日

五六五

關係各廳長殿

定期航空用燃料其ノ他整理ニ關スル件通牒

海軍軍用定期航空ニ使用セラルル航空機ニ要スル燃料及行動用消耗品ハ左記ニ依リ整理相成度

追テ昭和十二年九月軍需機密燃第一六三號(公報部内限二七二四號)消費報告ニハ定期航空用ナル旨附記相成度

記

一、整理方法

燃料經理規程第十五條及第十七條ニ依リ整理ノコト右所要額ニ對シテハ請求ヲ俟テ別途告達セラル但シ第三聯合航空隊及上海特別陸戰隊、第四根據地隊司令部ハ豫算外トス

一、供給方法

東京ニテ搭載セシモノハ横須賀海軍航空隊ニ供給ノコトトス
福岡ニテ搭載セシモノハ佐世保海軍航空隊ニ供給ノコトトス
上海ニテ搭載セシモノハ上海特別陸戰隊ニ供給ノコトトス
第六航空基地ニテ搭載セシモノハ第三聯合航空隊ニ

供給ノコトトス

海南島ニテ搭載セシモノハ第四根據地隊司令部ニ供給ノコトトス

附記

昭和十三年八月軍需燃第一六九號(公報部内限)定期航空用燃料其ノ他整理ニ關スル件通牒ハ之ヲ廢止ス

○ 辭 令

海軍機關少佐 奥 末 廣

海軍武功調査委員ヲ命ス(海軍省)

○ 雜 款

○將旗掲揚

第六戰隊司令官ハ五月二十二日將旗ヲ利根ニ掲揚セリ

○司令潜水艦變更

第十二潜水隊司令ハ五月二十二日司令潜水艦ヲ伊號第七十潜水艦ヨリ伊號第六十九潜水艦ニ變更セリ

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○五月二十四日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥、
嚴島、▽八雲、木曾、▽沖島、山城、愛宕、
▽長門、▽赤城、▽鳥海、摩耶、▽利根、筑摩、
▽那珂、▽劍埼、▽若龍▲

島風▲灘風▲▽夏雲、峯雲、朝雲▲

山雲▲▽曉▲▽村雨▲春雨▲夕立▲

五月雨、▽朧、曙、潮、▽天霧▲朝霧▲

夕霧▲伊六▲伊一二四▲▽伊五▲伊七▲

富士▲膠州、洲崎▲鳴戸

(飛龍)、(高崎)

【長浦】

沙風、帆風、沖風、▽沼風、狹霧、漣

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、伊一二三、伊四

【石川島】

野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

葵▲

【函館】

大泊 吳竹▲▽口菊▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲古鷹▲神通▲日向▲
熊野、三隈、鳳翔、加古、最上、伊勢、
千代田、扶桑▲、鬼怒、▽大鯨▲、龍驤

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

▽芙蓉、刈萱、朝顔、▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲

▽東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

▽呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

▽呂二八▲、呂五九▲、伊五一、伊六六▲

▽伊六七▲、伊七〇、伊一二二、▽伊六二、

伊六一、伊六四、▽伊一、伊二、伊三、

▽伊五五▲、伊五三▲、伊五四▲、▽伊七五▲

伊七四▲、▽伊七三▲、伊七一▲、伊七二▲

伊八▲

雁 攝津、隠戸、間宮

【大阪】

天龍▲(伊一五)▲(伊一六)▲(伊九)▲

卯月▲、如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】

▽伊六八▲、▽伊五七、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】

神風▲、波風▲

早稲▲

【玉】

(初鷹)▲

呂六二▲

海軍公報(部内限)第三千二百十五號

昭和十四年五月二十四日

五六七

【因ノ島】_口春風▲、旗風▲、臯月▲

【江田内】_口平戸▲

【郡中沖】_口大井

【舞鶴】_口吾妻▲、迅鯨▲、敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

室戸

(陽炎)▲(親潮)▲

【直江津】_口長鯨

【佐世保】_口那智▲、常磐▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登▲、呂龍田▲、千歳▲、榛名▲、磐手▲、八重山▲、足柄▲、霧島▲、金剛▲、阿武隈▲、由良▲、川内▲、梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、蓬▲、菱▲、葦▲、柿▲、榆▲、文月▲、水無月▲、長月▲、大潮▲、満潮▲、朝潮▲、荒潮▲、彌生▲、夕月▲、三日月▲、菊月▲、睦月▲、望月▲、若葉▲、子日▲、初霜▲、初春▲、江風▲、涼風▲、山風▲、海風▲、追風▲、疾風▲、峯風▲

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六八、呂六三、呂六六、呂六五、呂六七、伊六九▲、伊六五、伊五九▲、伊六〇▲、呂三四、呂三三

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一〇▲、掃八、掃九

敷島▲、鶴見、佐多

【長崎】_口羽黒▲ (明石)、(雪風)▲(伊一八)▲

【鎮海】_口呂六四

【仁川】_口綾波

【鎮南浦】_口浦波

【作業地】_口出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、駒橋、栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、太刀風、夕風

伊六三、

隼、鴨、鵠、鳩、雉、鷺

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、掃七

朝日、野島、石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホルル」發一吳へ)

尻矢 (十九日横須賀發一羅府へ)

白鷹、矢風、夜、伊二二 (二十三日吳發一伊豫灘へ)

知床 (二十三日吳發一横須賀へ)

多摩 (二十四日横須賀發一宮古へ)

電、雷、響 (二十四日長浦發一清水へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十六號

海軍大臣官房

昭和十四年五月二十五日(木)

○通牒

航本機密第四七二一號
左ノ各號ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年五月二十四日

海軍航空本部長

昭和六年航本機密第六九七號

(航空用發動機部品改正通知ノ件)

昭和十二年航本機密第一五一六號

(航空發動機附屬裝置部品改正通知ノ件)

(参照) 海軍航空秘法規類集 二〇六頁、二二二頁

○辭令

島田 渥美

海軍省事務ヲ囑託ス(海軍省)

軍令部部員陸軍工兵少佐 折田 正雄

第四部第九課勤務ヲ命ス(軍令部)

第三部第六課勤務ヲ命ス

軍令部部員海軍中佐 小別當 惣三

第二部第三課勤務ヲ命ス(以上同)

軍令部出仕海軍中佐 長 澤 浩

通信部第九課勤務ヲ命ス(大本營海軍部)

陸軍工兵少佐 折田 正雄

參謀部第三部第六課兼報道部第一課勤務ヲ命ス(同)

海軍中佐 小別當 惣三

○雜款

○司令驅逐艦一時變更

第十驅逐隊司令ハ五月二十二日司令驅逐艦ヲ一時曉ヨリ漣ニ變更、同日復歸セリ

第二十二驅逐隊司令ハ五月二十四日司令驅逐艦ヲ一時文月ヨリ水無月ニ變更セリ

○郵便物發送先

海軍公報(部内限) 第三千二百十六號

昭和十四年五月二十五日

五六九

軍艦夕張宛

五月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 大 横 須 賀

其ノ後ハ

○事務所移轉

名古屋海軍造兵監督官事務所ヲ左記ニ移轉セリ

記

名古屋市西區南外堀町六丁目一ノ三五

電話 東八一七六、八一七七、八一七八

(註) 新事務所ハ名古屋驛下車ヲ便トシ自動車ニテ

五分行程トス

○訂正

済

一昨二十三日雜款欄軍艦多摩行動豫定中宮古「五月二十六日」ヲ「五月二十五日」ニ訂正ス

○艦船所在

指[△]定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ズ

○五月二十五日午前十時調

【横須賀】

春日[△]、高雄[△]、神威[△]、五十鈴[△]、鈴谷[△]、陸奥、殿島、[▽]八雲、木曾、[▽]沖島、山城、愛宕、[▽]長門、[▽]赤城、[▽]島海、摩耶、[▽]利根、筑摩、[▽]那珂、[▽]劍崎、[▽]蒼龍

島風[△]、灘風[△]、[▽]夏雲、峯雲、朝雲、山雲、[▽]晚、[▽]村雨、[▽]春雨、夕立[△]、五月雨、[▽]隼、曙、潮、[▽]天霧、朝霧、夕霧

伊六[△]、伊一二四[△]、伊七[△]、富士[△]、膠州、洲崎[△]、鳴戸

(飛龍)、(高崎)

【長浦】 汐風、帆風、沖風、[▽]沼風、狹霧、漣

呂五四、呂五五、呂五六、[▽]呂五七、呂五八、伊一二三、[▽]伊五、伊四

野風[△] (掃一二)[△]

【石川島】 北上[△]

浦賀 (霞[△])、(不知火[△])、(早潮[△])、(掃一二)[△]

館山 澤風[△]

大湊 葵[△]

函館 吳竹[△]、[▽]菊[△]

【吳】 矢矧、淺間、淀、比叡[△]、古鷹[△]、神通[△]、日向[△]

熊野、三隈、鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田、扶桑[△]、鬼怒、[▽]大鯨[△]、龍驤

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、芙蓉、刈萱、朝顔、[▽]初雪[△]、白雪[△]、吹雪[△]、[▽]東雲[△]、叢雲[△]、薄雲[△]、矢風

呂五一、呂五三、呂二六[△]、呂二七[△]、呂二八[△]、呂五九[△]、伊五一、伊六六[△]、伊六七[△]、伊七〇、[▽]伊一二三、伊一二二、伊六二、伊六一、伊六四、[▽]伊一、伊二、伊三、[▽]伊五五[△]、伊五三[△]、伊五四[△]、伊七五[△]、伊七四[△]、[▽]伊七三[△]、伊七一[△]、伊七二[△]、伊八[△]

雁 攝津、隠戸、間宮

(伊一五)[△]、(伊一六)[△]、(伊九)[△]

【大阪】 天龍[△]

卯月[△]、如月[△]

(伏見[△])、(黒潮[△])、(夏潮[△])

【神戸】 [▽]伊六八[△]、[▽]伊五七[△]、伊五六[△]、伊五八[△]、(初風[△])、(伊二〇)[△]、(伊二二)[△]

【相生】 神風[△]、波風[△]

早稲[△]

(初鷹)[△]

【玉】 呂六二[△]

【因ノ島】 [▽]春風[△]、旗風[△]、阜月[△]

【江田内】 平戸 ▲

【廣島灣】 大井

【伊豫灘】 白鷹

【舞鶴】 吾妻 ▲ 迅鯨 ▲

敷波 ▲ 磯波 ▲ 白雲

伊五二 ▲

(陽炎) ▲ (親潮) ▲

【直江津】 長鯨

【佐世保】 那智 ▲ 常磐 ▲ 青葉 ▲ 衣笠 ▲ 加賀 ▲ 能登 ▲ 呂

龍田 ▲ 千歳 ▲ 榛名 ▲ 磐手 ▲ 足柄 ▲ 霧島 ▲

金剛 ▲ 阿武隈 ▲ 由良 ▲ 川内 ▲

梨 ▲ 竹 ▲ 樞 ▲ 桃 ▲ 柳 ▲ 檜 ▲ 萱 ▲ 蓬 ▲ 菱 ▲

朝潮 ▲ 荒潮 ▲ 文月 ▲ 長月 ▲ 大潮 ▲ 滿潮 ▲

朝潮 ▲ 荒潮 ▲ 彌生 ▲ 夕月 ▲ 三日月 ▲

初春 ▲ 江風 ▲ 涼風 ▲ 山風 ▲ 海風 ▲ 追風 ▲

疾風 ▲ 峯風 ▲

呂三〇 ▲ 呂三一 ▲ 呂三二 ▲ 呂六〇 ▲

呂六一 ▲ 呂六五 ▲ 呂六九 ▲ 呂六五 ▲

伊五九 ▲ 伊六〇 ▲ 呂三三 ▲ 呂三三 ▲

眞鶴 ▲ 千鳥 ▲ 友鶴 ▲ 初雁

敷島 ▲ 鶴見 ▲ 佐多

(明石) ▲ (雪風) ▲ (伊一八) ▲

【長崎】 羽黒 ▲

【鎮海】 呂六四

【仁川】 綾波

【鎮南浦】 浦波

【作業地】 出雲 ▲ 安宅 ▲ 鳥羽 ▲ 勢多 ▲ 堅田 ▲ 比良 ▲

保津 ▲ 熱海 ▲ 二見 ▲ 瑞穂 ▲ 球磨 ▲ 妙高 ▲

名取 ▲ 長良 ▲ 嵯峨 ▲ 勝力 ▲ 夕張 ▲ 駒橋 ▲

栗 ▲ 梅 ▲ 蓮 ▲ 夕風 ▲ 朝風 ▲ 松風 ▲ 朝風 ▲

白露 ▲ 有明 ▲ 夕暮 ▲ 時雨 ▲ 秋風 ▲ 羽風 ▲

太刀風 ▲ 夕風

伊六三 ▲

隼 ▲ 鶴 ▲ 鴻 ▲ 鳩 ▲ 雉 ▲ 鷺

掃五 ▲ 掃一 ▲ 掃二 ▲ 掃三 ▲ 掃四 ▲ 掃六 ▲

掃一六 ▲ 掃一三 ▲ 掃二四 ▲ 掃一五 ▲

掃一七 ▲ 掃一八 ▲ 掃七

朝日 ▲ 野鳥 ▲ 石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳へ)

尻矢 (十九日横須賀發一羅府へ)

知床 (二十三日吳發一横須賀へ)

多摩 (二十四日横須賀發一宮古へ)

八重山 (呂六八 ▲ 呂六三 ▲ 呂六六 ▲ 呂六七 ▲)

掃一〇 ▲ 掃八 ▲ 掃九 (二十四日佐世保發一港外へ)

電 ▲ 雷 ▲ 響 (二十四日長浦發一清水へ)

水無月 (二十四日吳發一廣島灣へ)

室戸 (二十四日佐世保發一吳ヲ經テ因ノ島へ)

舞鶴發一吳へ)



海軍公報

(部内限) 第三千二百十七號

昭和十四年五月二十六日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房第二七五四號 昭和十四年五月二十五日
支那事變中海軍警査ヲ左ノ通配員ス

昭和十四年五月二十五日

海軍大臣

第四艦隊軍法會議

海軍警査 兼務 二人

官房第一五六三號ノ四

昭和十二年官房第四三六八號中左ノ通改正シ昭和十四年五月二十五日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十四年五月二十六日

海軍大臣

第二類中「鎮海、馬公及旅順要港部軍法會議」ヲ「大湊、鎮海、馬公及旅順要港部軍法會議」ニ改ム

(參照) 昭和十二年官房第四三六八號ハ職時増俸支給ニ關スル件ナリ

○通牒

經調第四七號

昭和十四年五月二十六日

海軍省經理局長

各支出官殿

出納官吏ノ任免ニ關スル件照會

自今、支出官ニ於テ資金前渡官吏、臨時資金前渡官吏又ハ臨時分任出納官吏ヲ任免シタル場合ニハ其ノ都度當局ニ通知相成度

追テ現在任命シアルモノニ付テハ此ノ際通知相成度

○雜款

○第三十潜水隊行動豫定

地名 着

吳 佐世保 六月六日

六月五日 發

海軍公報(部内限) 第三千二百十七號 昭和十四年五月二十六日

五七三

○郵便物發送先

第二水雷戰隊司令部、軍艦那珂宛

五月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ

六月 六 日迄ニ 同

其ノ後ハ

横 須 賀
横 須 賀
横 須 賀

第三十潜水隊司令及伊號第六十六潜水艦宛

六月 四 日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

吳 佐 世 保

追テ司令宛書類ニシテ伊號第六十七潜水艦ニ關係
アルモノハ寫ヲ直接同艦へ送付相成度

呂號第五十九潜水艦宛

自 今

神戸市兵庫區 三菱神戸造船所内

○殘務整理

第七戰隊司令部ニ係ル殘務整理ハ自今第六戰隊司令部
ニ於テ行フ

○事務所設置

第五十二號驅潜艇艇裝具事務所ヲ横濱市鶴見區末廣町
二ノ一鶴見製鐵造船株式會社鶴見工場内ニ設置シ五月
二十三日事務ヲ開始セリ

○懲罰

懲罰言渡書

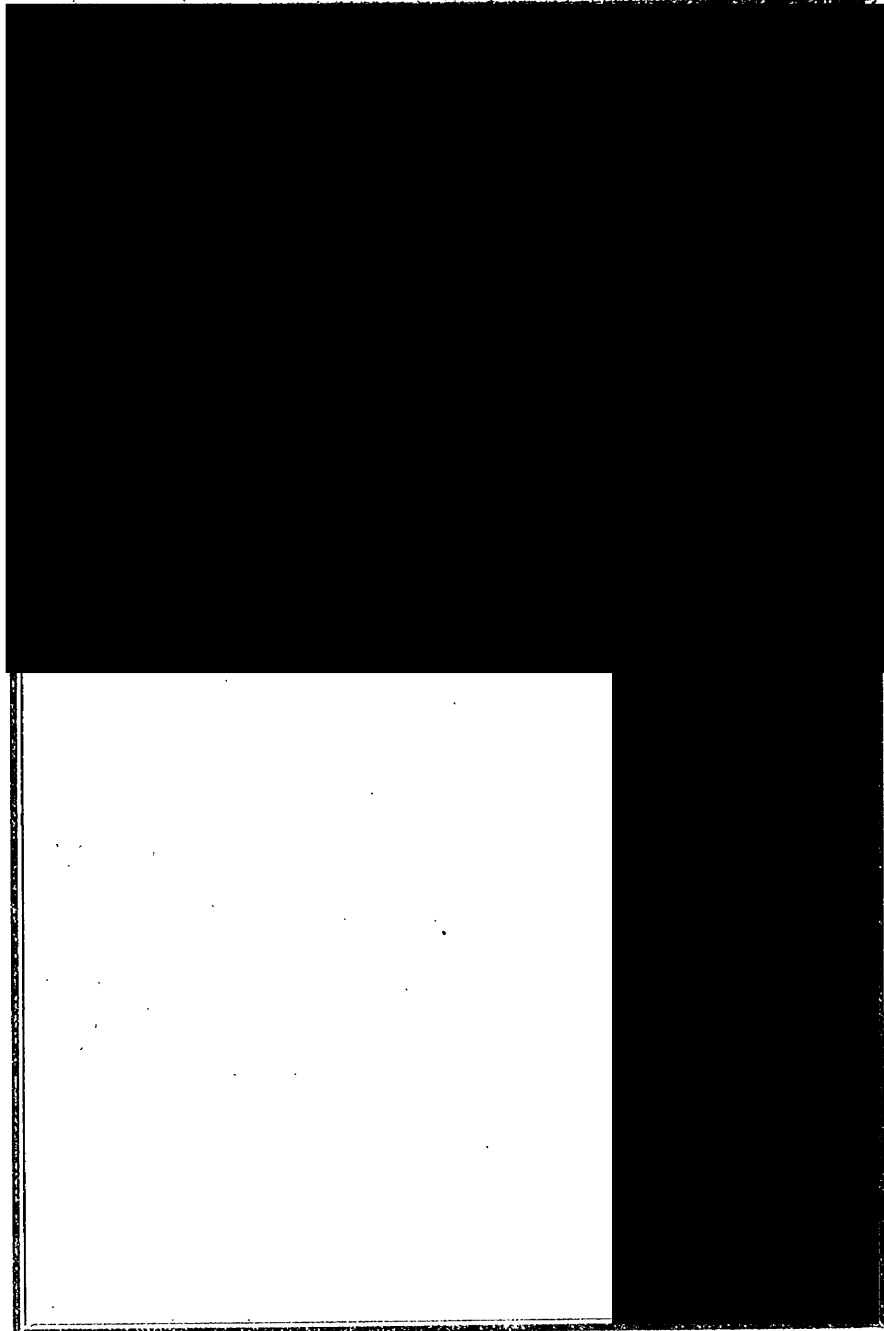
0677

海軍公報（部内限）第三千二百七十七號

昭和十四年五月二十六日

五七五

0678



海軍公報(部内張)第三千二百十七號

昭和十四年五月二十六日

五七六

○艦船所在

指印ハハホフ
定ワ要セズ

○五月二十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲五十鈴▲鈴谷▲陸奥▲

殿島、▽八雲、木曾、山城、愛宕、▽長門▲

▽赤城、▽鳥海、摩耶、▽利根、筑摩、▽那珂、

▽劍埼、▽蒼龍

島風▲灘風▲▽夏雲、峯雲、朝雲、山雲、

▽曉▲▽村雨▲春雨▲夕立▲五月雨、

▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧

伊六▲伊二四▲伊七▲

富士▲膠州、洲崎、鳴戸、知床

(飛龍)、(高崎)

【長浦】 汐風、沖風、▽沼風、狹霧、漣

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、伊二二三、▽伊五、伊四

【石川島】 野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】 北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

【館山】 澤風▲

【清水】 戸電、雷、響、帆風

【宮古】 多摩

【大湊】 葵▲

大泊

【函館】

吳竹▲▽菊▲

矢矧、淺間、淀、比叡▲古鷹▲神通▲日向▲

熊野、三隈、鳳翔、加古、最上、伊勢、

千代田、扶桑▲、鬼怒、▽大鯨▲龍驤

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

▽芙蓉、刈萱、朝顔、▽初雪▲自雪▲吹雪▲

▽東雲▲、叢雲▲、薄雲▲、矢風、▽水無月

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、呂五九、伊五一、伊六六、

伊六七、伊七〇、▽伊一二二、伊一二一、

伊六二、伊六一、伊六四、▽伊一、伊二、

伊三、▽伊五五▲伊五三、伊五四、

伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七一、

伊七二、伊八

雁

攝津▲隠戸、間宮

(伊一五)▲(伊一六)▲(伊九)▲

【大阪】 天龍▲

卯月▲如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】 伊六八▲伊五七、伊五六▲伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】 神風▲波風▲

早瀬▲

(初瀬)▲

海軍公報(部内限)第三千二百十七號

昭和十四年五月二十六日

五七七

【玉】 呂六二▲

因ノ島 春風▲、旗風▲、阜月▲

【江田内】 平戸▲

【廣島灣】 大井▲

舞鶴 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

(陽炎)▲(親潮)▲

【新瀉】 長鯨

那智▲常磐、青葉▲衣笠▲加賀▲能登▲呂

龍田、千歳、榛名、磐手、足柄、川霧島、

金剛、阿武隈、由良、川内▲

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕨、蓬、菱、

草▲柿▲檜▲文月、長月、大潮▲滿潮▲

朝潮▲荒潮、彌生、夕月、三日月、

菊月、睦月、望月、若葉▲子日▲、初霜▲

初春▲江風、涼風、山風、海風、追風▲

疾風▲峯風▲

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六五、伊六九▲、伊六五、

伊五九▲、伊六〇▲、呂三四、呂三三、

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

敷島▲、鶴見、佐多

(明石)、(雪風)▲(伊一八)▲

【長崎】 初黒▲

【鎮海】 呂六四

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、

名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、駒橋、

沖島

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、

太刀風、夕風

伊六三、

隼、鶴、鴻、鳩、雉、鷲

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、

掃一七、掃一八、掃七

朝日、野島、石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳へ)

尻矢 (十九日横須賀發一羅府へ)

八重山、呂六八、呂六三、呂六六、呂六七、

掃一〇、掃八、掃九 (二十四日佐世保發一港外へ)

室戸 (二十四日舞鶴發一吳へ)

白鷹、鞍 (二十五日伊豫灘發一吳へ)

綾波 (二十五日仁川發一鎮南浦へ)

浦波 (二十五日鎮南浦發一仁川へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十八號

昭和十四年五月二十九日(月)

海軍大臣官房

○通牒

軍務一機密第二四三號

昭和十四年五月二十六日

海軍省軍務局長

第二艦隊參謀長殿

計畫滿載狀態ノ件回答

第二艦隊機密第三號ノ四四照會首題ノ件艦艇防備隊航空隊現狀報告ニハ貴意ノ通完成要目簿記載ノ數値記註ヲ至當トスルニ付可然取計相成度

(別紙)

第二艦隊機密第三號ノ四四

昭和十四年四月四日

第二艦隊參謀長

海軍省軍務局長殿

計畫滿載狀態ノ件照會

首題ノ件ニ關シ各艦現狀報告ニヨレバ附表一ノ如ク同

海軍公報(部内限) 第三千二百十八號

昭和十四年五月二十九日

五七九

型艦ニ於テ著シキ差ヲ認メラルルヲ以テ第四、七戰隊各艦ニ就キ調査シタル處附表二ノ狀況ナルト同時ニ計畫滿載量ナルモノハ現在艦側ニハ殘シアラザルコト判明セリ

尙現狀報告ノ性質ニ鑑ミルモ完成要目簿記載ノ數値ヲ記註スルヲ適當ト思考致候條御意見承知致度

(附表)

軍務一機密第一〇六號ノ六

昭和十四年五月二十九日

**内令提
要登載**

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

海軍所屬航空機ノ無線羅針局利用ニ

關スル件通牒

海軍所屬航空機飛行中航法上ノ必要ニ應ジ遞信省、朝鮮總督府、臺灣總督府及關東遞信官署所管無線羅針局ニ對シ特定電波ノ輻射ヲ要求スル場合當該無線羅針局ハ差支ナキ限リ航空機ノ要求ニ應ズル様照會中ノ處差

支ナキ旨回答有之候條了知相成度
追テ航空機ノ呼出符號ハK A iニ一乃至九ノ數字ヲ
加ヘタルモノヲ使用シ連絡電波其ノ他詳細ハ其ノ都
度航空機所屬部隊ヨリ關係遞信局ニ協議スルコトト
了知相成度

○辭令

海軍少將 園田 滋
臨時戦史部勤務ヲ命ス(二十五日軍令部)

東京軍法會議附兼第四艦隊軍法會議附
海軍錄事 井伊 直邦
主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(二十五日東京軍法會
議首席法務官)

高等軍法會議附兼第三艦隊軍法會議附
海軍警査 阿部 仁三郎
主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(二十五日高等軍法會
議首席法務官)

○雜款

○司令驅逐艦一時變更

第十驅逐隊司令ハ五月二十四日司令驅逐艦ヲ一時曉ヨ
リ漣ニ變更、同日復歸セリ

○特務艦室戶行動豫定

吳	地	名	着	發
長	崎	保	六月二十日	六月十九日
佐	世	海	二十二日	二十四日
鎮	世	保	二十五日	二十七日
佐	世	保	二十八日	二十九日
長	崎	保	二十九日	三十日
吳	地	名	七月一日	

○特設運送船金龍丸行動豫定

佐	地	名	着	發
西	世	崎	六月六日	六月九日
吳	戶	保	十日	十四日
横	須	賀	十五日	十八日
佐	世	保	二十日	二十三日
吳	世	保	二十四日	二十七日
佐	世	保	三十日	三十一日

○郵便物發送先
特務艦早鞆宛

五月三十日迄ニ到達見込ノモノハ

0683

其ノ後ハ

兵庫縣赤穂郡

相 佐 世 生
保 保

特務艦室戸宛

六月十八日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十八日迄ニ 同

吳 佐 世 保
吳 世 保

○正誤

本年官房第一七五四號別冊昭和十四年度海軍省所管歳入歳出科目表中三九頁節「備給」ハ「備給」ノ、五八頁目「俸給」ハ「備給」ノ孰レモ誤

(別冊総括モノノ正誤不能)

海軍公報(部内限) 第三千二百十八號 昭和十四年五月二十九日

五八一

○艦船所在

指印ハハカフ
定ヲ要セズ

○五月二十九日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲五十鈴▲鈴谷▲陸奥▲

嚴島、▽八雲、木曾、山城、愛宕、▽長門▲

▽赤城、▽島海、摩耶、▽利根、筑摩、▽那珂、

▽劍埼、▽蒼龍、駒橋、▽沖島

島風▲灘風▲▽夏雲、峯雲、朝雲、山雲、

▽曉▲▽村雨▲春雨▲夕立▲五月雨、

▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧

伊六▲伊二四▲伊七▲

富士▲膠州、洲埼▲鳴戸、知床

(飛龍)、(高崎)

【長浦】 沙風、沖風、▽沼風、狹霧、漣、▽電、

雷、響、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、伊一二三、▽伊五、伊四

【石川島】 野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】 北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲

【館山】 澤風▲

【八戸】 多摩▲

【大湊】 葵▲

大泊

【函館】

吳竹▲▽菊▲

矢矧、淺間、淀、比叡▲古鷹▲神通▲日向▲

熊野、三隈、鳳翔、加古、最上、伊勢、

扶桑▲鬼怒、▽大鯨▲龍驤、▽白鷹、大井

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

▽芙蓉、刈萱、朝顔▲▽初雪▲白雪▲吹雪▲

▽東雲▲叢雲▲薄雲▲矢風、▽水無月、霞

呂五一、呂五三、呂二六▲呂二七▲

呂二八▲伊五一、伊六六▲伊六七▲

伊七〇、▽伊一二三、伊一二一、

伊六三、伊六二、伊六四、▽伊一、伊二、

伊三、▽伊五五▲伊五三▲伊五四▲

▽伊七五▲伊七四▲▽伊七三▲伊七一▲

伊七二▲伊八▲

雁

攝津▲隱戸、間宮、室戸、襟裳

【大阪】 天龍▲

(伊一五)▲(伊一六)▲(伊九)▲

卯月▲如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】 伊六八▲▽伊五七、伊五六▲伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】 神風▲波風▲

早稲▲

(初鷹)▲

海軍公報(部内限) 第三千二百十八號

昭和十四年五月二十九日

五八三

【玉】 呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、阜月▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

(陽炎)▲、(親潮)▲

【酒田】 長鯨

那智▲、常磐、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂、

龍田、千歳、榛名、磐手、足柄、▽霧島、

金剛、▽阿武隈、由良、▽川内▲

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、

▽葦▲、柿▲、楡▲、文月、長月、▽大潮▲、滿潮▲、

朝潮▲、荒潮、▽彌生、夕月、▽三日月、

菊月、睦月、望月、▽若葉▲、子日▲、初霜▲、

初春▲、▽江風、涼風、山風、海風、▽追風▲、

疾風▲、峯風▲

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六五、▽伊六九▲、▽伊六五、

▽伊五九▲、伊六〇▲、▽呂三四、呂三三

▽眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

▽掃一〇、掃八、掃九

敷島▲、鶴見、佐多、野島

(明石)、(雪風)▲、(伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲

【鹿兒島】 八重山

▽呂六八、呂六三、▽呂六六、呂六七

【鎮海】 呂六四

【仁川】 綾波

【鎮南浦】 浦波

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、▽瑞穂、球磨、▽妙高、

名取、▽長良、▽嵯峨、勝力、夕張、

千代田

栗、梅、蓮、▽夕風、朝風、▽松風、朝風、

▽白露、有明、夕暮、時雨、▽秋風、羽風、

太刀風、夕風

伊六三、

▽隼、鴨、鶴、鴻、鳩、雉、鷺

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、▽掃六、

▽掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、

▽掃一七、掃一八、掃七

朝日、石廊

【航海中】

尻矢 (十九日横須賀發—羅府へ)

呂五九 (二十八日吳發—神戸へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十九號

海軍大臣官房

昭和十四年五月三十日(火)

○通牒

官房第二七九四號

昭和十四年五月三十日

授 受

海軍次官

各廳長殿

從軍加算ニ關スル件通牒

昭和十三年官房第三二七四號第二ノニニ依ル戰地外戰務加算ハ別表ノ期日迄之ヲ適用セラレ候

(別表一葉添)

海人機密第四三號

昭和十四年五月三十日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

航空特殊勤務日誌ニ關スル件申進

昭和十二年海人機密第一號ノ二五五ニ依ル首題ノ件ハ昭和十四年六月一日以後之ガ調製ヲ要セザル義ト了知

相成度

航本機密第四八六九號

昭和十四年五月二十九日

海軍航空本部長

佐世保 海軍工廠長 殿

廣 海軍航空技術廠長 殿

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

四月一日航本機密第二七四一號首題通牒ニ左記ヲ追加
シ軍艦島海、同摩耶、同那珂、同劍崎、同千代田ニ

「○」印ヲ加フ

記

○軍 艦 利 根

○同 筑 摩

一、〇〇〇圓

一、〇〇〇圓

(昭和十四年四月四日海軍公報(部内限)参照)

○辭令

海軍公報(部内限) 第三千二百十九號 昭和十四年五月三十日

五八五

第五海軍軍用郵便所員ヲ免ス(五十八日海軍省) 集配手 小笠原 孝次

厦門特務部殘務整理ノ爲支那方面艦隊經費臨時分任 海軍主計少佐 山 田 涉
出納官吏ヲ命ス

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上五十五日) 海軍主計少佐 福本 西吉
支出官海軍省經理局長)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第十二潜水隊司令ハ五月二十九日司令潜水艦ヲ伊號第六十九潜水艦ヨリ伊號第七十潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
軍艦千代田宛 佐世保郵便局氣付
自 今

特設運送船旭光丸宛 佐世保郵便局氣付
自 今

佐世保鎮守府第九特別陸戰隊宛 佐世保郵便局氣付
自 今 副田部隊

特設運送船第三十六共同丸宛 佐世保郵便局氣付
自 今

○南洋群島在勤海軍武官宛名ニ關スル件
一、南洋群島在勤海軍武官ハ獨立ニシテ南洋廳トハ事務所モ別個ニ存在ス、從來郵便宛名ニ南洋廳海軍武官或ハ南洋廳内武官室等ト記載スル向アリテ誤達、遲達ヲ來シ、軍極秘等ノ書類ニテ南洋廳文書課ニテ開キタル後回送サルモノアリ機密保持上寒心ニ不堪亦事務遂行上不都合ヲ生ジタルコトモ有之ニ付自今宛名ハ必ズ左記ニ依ラレ度

(一) 郵送ノ場合 パラオ、南洋群島在勤海軍武官
(二) 電送ノ場合 海軍無線呼出符號(暗號) パラオ、ザイキンブカン(平文)

二、海軍各部ニ於テ南洋廳主務課ト直接交渉セラレ爾後ノ處置ノミ在勤武官宛申越サレ又ハ書類ヲ直接南洋廳ニ送付セラレ在勤武官ニ回答ノミ求メラルル向有之候處右ハ必ズ在勤武官經由ニテ行ハレ度若シ至急ヲ要シ東京ニテ南洋廳出張所ト直接交渉セラレタル時ハ其ノ旨電報シ又書類ナル時ハ寫御送付ヲ得度
三、海軍各部ヨリ南洋方面へ出張セララルルハ期間、用件等ニ就キ豫メ在勤武官宛電報通知ヲ得度
(南洋群島在勤海軍武官)

○ 正 誤



0688

昨二十九日通牒欄軍務一機密第二四三號別紙第二艦隊
機密第三號ノ四四中附表ハ返却シ、(附表添)ヲ(附表
略)ニ改ム

海軍公報(部内限) 第三千二百十九號 昭和十四年五月三十日

五八七

(別表)

應 名		期 日		應 名		期 日	
海軍省	昭和一四、三、三一	戰地外ニ在ル防備隊	昭和一四、三、三一	海軍令	同	戰地外ニ在ル海軍航空隊	同
海軍艦政本部	同 <small>(造船艦兵監督令ニ定ムルモ ノハ昭和一三、一二、三一)</small>	海軍通信隊	同	海軍航空本部	同(同)	軍法會議	昭和一三、六、一六
鎮守府	同	要港部	昭和一四、三、三一	海軍人事部	同	作戦部隊ニ屬シ戰地外ニ 在ル艦船部隊	同
地方海軍人事部	昭和一三、一二、三一	戰地外ニ在ル在役艦船 (練習艦隊ヲ除ク)	同	海軍經理部	昭和一四、三、三一	別ニ指定セラルル鎮守府 又ハ要港部所屬ノ艦船	昭和一三、一二、三一
海軍建築部	同	練習艦隊	同	海軍造船部	同	水路部	昭和一四、三、三一
海軍艦船部	同	海軍技術研究所	昭和一三、一二、三一	海軍工務部	同	海軍各學校	同
海軍燃料廠	同	大本營	昭和一四、三、三一 <small>(支那以外ノ外國ニ在ルモノハ 昭和一三、六、一六)</small>	海軍航空廠	同	元帥府	同
海軍火藥廠	同	軍事參議院	同	海軍病院	同	侍從武官府	同
海軍港務部	同	侍從武官府	同	海軍港務部	同		
海軍兵團	同						

(昭和十四年五月三十日公報(部内限))

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲
定▲ヲ▲要▲セ▲ズ

○五月三十日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲五十鈴▲鈴谷▲陸奥▲

嚴島、▽八雲、木曾、愛宕、口長門▲

▽赤城、口鳥海、摩耶、▽利根、筑摩、▽那珂

▽劍埼、▽蒼龍、駒橋、▽沖島

島風▲灘風▲口夏雲、峯雲、朝雲、山雲、

口曉▲、口村雨▲、春雨▲、夕立▲、五月雨、

口龍、曙、潮、口天霧、朝霧、夕霧

伊六▲、伊二四▲、伊七▲

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(飛龍)、(高崎)

【長浦】 沙風、沖風、口沼風、狹霧、漣、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、

呂五八、伊二二三、口伊五、伊四

【石川島】 野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】 北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

【館山】 山城

澤風▲、口電、響

【大湊】 夕張

葵▲

大泊

【函館】 吳竹▲、口菊▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、日向▲、

熊野、三隈、風翔、最上、伊勢、扶桑▲、

鬼怒、▽大鯨▲、龍驤、▽白鷹

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

口芙蓉、刈萱、口初雪▲、白雪▲、吹雪▲、

口東雲▲、叢雲▲、薄雲▲、矢風、口水無月

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一、伊六六▲、伊六七▲、

伊七〇、伊二二一、口伊一、伊二、伊三、

伊五五▲、伊五三▲、伊五四▲、口伊七五▲、

伊七四▲、口伊七三▲、伊七一▲、伊七二▲、

伊八▲

雁

攝津▲、隱戸、間宮、室戸、襟裳

伊一五▲、(伊一六)▲、(伊九)▲

【大阪】 天龍▲

卯月▲、如月▲

(伏見)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】 呂五八▲、口伊五七、伊五六▲、伊五八▲、

呂五九

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【相生】 神風▲、波風▲

早稲▲

(初鷹)▲

【玉】 呂六二▲

海軍公報(部内限) 第三千二百十九號

昭和十四年五月三十日

五八九

【因ノ島】春風、旗風、臯月

【江田内】平戸

【兜島】加古

【長濱】伊一三二

【舞鶴】吾妻、迅鯨、敷波、磯波、白雲

伊五二 (陽炎) (親潮)

【酒田】長鯨

【佐世保】

那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歳、榛名、磐手、足柄、霧島、金剛、阿武隈、由良、川内

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、朝潮、梯、榎、文月、長月、大潮、滿潮、朝月、睦月、望月、若葉、子日、初霜、初春、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六五、呂六九、伊六五、伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁、掃一〇、掃八、掃九

敷島、鶴見、佐多、野島 (明石) (雪風) (伊一八)

【長崎】羽黒

【鹿兒島】呂六六、呂六七

【鎮海】呂六四

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、千代田、名取、長良、嵯峨、勝力、栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白鷺、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、太刀風、夕風

伊六三、伊六二、伊六一、伊六四 (二十九日吳發)

隼、鴨、鵠、鴻、鳩、雉、鷲

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八、掃七

朝日、石廊

【航海中】

尻矢 (十九日横須賀發—羅府)

大井 (二十九日吳發—大阪灣)

多摩 (二十九日八戶發—舞鶴)

八重山 (呂六八、呂六三) (二十九日鹿兒島發—佐世保)

浦波 (二十九日鎮南浦發—濟州島)

綾波 (二十九日仁川發—鎮海)

朝顔 (二十九日吳發—相生)

雷 (二十九日長浦發—相模灘)

霞 (伊六一、伊六二、伊六四) (二十九日吳發—廣島灣)

知床 (三十日横須賀發—吳)

海軍公報

(部内限) 第三千二百二十號

昭和十四年五月三十一日(水)

海軍大臣官房

○ 通 牒

海人第一號ノ八二

昭和十四年五月三十一日

要令提
登載

海軍省軍務局長
海軍省人事局長

關係各廳長殿

所轄長ノ職務執行ニ關スル件通牒

支那方面艦隊司令長官ハ上海航路部長ヲシテ其ノ部下ノ人事ニ關シ所轄長ノ職務ヲ執行セシメ得ルコトニ定メラレ候

○ 辭 令

海軍大佐 小島 秀雄

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

思想調査委員會委員ヲ命ス(海軍省)

軍令部課長海軍大佐 小島 秀雄

第三部第七課長ヲ命ス(海軍省)

○ 雜 款

參謀部第三部第七課長ヲ命ス(海軍省)

海軍大佐 小島 秀雄

○司令掃海艇變更

第十一掃海隊司令ハ五月二十九日司令掃海艇ヲ第十六號掃海艇ヨリ第十三號掃海艇ニ變更セリ

○特設運送船總洋丸行動豫定

地名	着	發
吳		五月二十六日
長崎	五月二十七日	二十九日
佐保	六月一日	三十一日
八幡	六月一日	二日
鎮海	六月三日	四日
鎮南	六月六日	十二日
西戶崎	六月十四日	十五日
佐保	六月十六日	十八日
馬公	六月二十一日	二十五日
基隆	六月二十六日	二日

海軍公報(部内限) 第三千二百二十號

昭和十四年五月三十一日

五九一

0693

海軍公報(部内限)第三千二百二十號 昭和十四年五月三十一日

五九二

佐世保 七月四日 七日
吳 八日

○郵便物發送先
驅逐艦朝顔宛

自今

兵庫縣赤穂郡相生町
播磨造船所内

第十一掃海隊司令及主計長、第十五號掃海艇宛

六月八日迄ニ到達見込ノモノハ

旅順要港部氣付

其ノ後ハ

第三軍用郵便所氣付

第十六號掃海艇宛

自今

旅順要港部氣付

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月三十一日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲五十鈴、鈴谷、陸奥、

殿島、▽八雲、木曾、愛宕、▽長門▲

▽赤城、▽島海、摩耶、▽利根、筑摩、▽那珂、

▽劍埼▲、▽蒼龍、駒橋、▽沖島

島風▲灘風▲▽夏雲、峯雲、朝雲、山雲、

▽村雨▲、春雨▲、夕立▲、五月雨▲、▽隴▲、

潮▲、曙、▽天霧、朝霧、夕霧、澤風

伊一二四▲、伊七▲

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

【長浦】

(飛龍)、(高崎)

汐風、沖風、▽沼風、▽曉▲、狹霧、漣、

帆風、▽電、響、雷

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、伊一二三、▽伊五、伊四、伊六

野風▲

(掃一二)▲

北上▲

(霞)▲、(不知火)▲、(早潮)▲、(掃一二)▲

【函館】

大泊

【大湊】

山城

【館山】

葵▲

【大湊】

大泊

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、日向▲、

熊野、三隈、鳳翔、最上、伊勢、扶桑▲、

鬼怒▲、▽大鯨、龍巖、▽白鷹

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

芙蓉、刈萱、▽初雪、白雪、吹雪、▽東雲▲、

叢雲▲、薄雲▲、矢風、▽水無月

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一、伊六六▲、伊六七▲、

伊七〇、▽伊一二二、伊一二一、▽伊一、

伊二、伊三、▽伊五五▲、伊五三▲、伊五四▲、

伊七五▲、伊七四▲、▽伊七三▲、伊七一▲、

伊七二▲、伊八▲

雁

攝津▲、隠戸、間宮、襟裳

(伊一五)▲、(伊一六)▲、(伊九)▲

天龍▲、大井

卯月▲、如月▲

(伏見)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

呂五八▲、▽伊五七、伊五六▲、伊五八▲、

呂五九▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

神風▲、波風▲、朝顔

早鞆▲

(初鷹)▲

呂六二▲

【大阪】

天龍▲、大井

卯月▲、如月▲

(伏見)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

呂五八▲、▽伊五七、伊五六▲、伊五八▲、

呂五九▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

神風▲、波風▲、朝顔

早鞆▲

(初鷹)▲

呂六二▲

【相生】

神風▲、波風▲、朝顔

早鞆▲

(初鷹)▲

呂六二▲

呂六二▲

海軍公報(部内限)第三千二百二十號

昭和十四年五月三十一日

五九三

【因ノ島】春風、旗風、阜月

【江田内】平戸

【兜ノ島】加古

【舞鶴】吾妻、迅鯨

敷波、磯波、白雲

伊五二

(陽炎) (親潮)

【能代】長鯨

【佐世保】那智、青葉、衣笠、加賀、常磐、能登、呂

龍田、千歳、榛名、磐手、足柄、霧島、

金剛、阿武隈、由良、川内、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蓮、菱、

草、柿、楡、文月、長月、大潮、満潮、

朝潮、荒潮、彌生、夕月、三日月、

菊月、陰月、望月、若葉、子日、初霜、

初春、江風、涼風、山風、海風、追風、

疾風、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇

呂六一、呂六六、呂六七、呂六五、

呂六八、呂六三、呂六九、伊六五、

伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三、

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一〇、掃八、掃九

敷島、鶴見、佐多

(明石)、(雪風)、(伊一八)

【長崎】羽黒

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、

千代田、名取、長良、嵯峨、勝力

栗、梅、遠、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、

太刀風、夕風

伊六三、

隼、鶴、鴻、鳩、雉、鷲

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、

掃一七、掃一八、掃七

朝日、石廊、野島

【航海中】

尻矢 (十九日横須賀發—羅府)

浦波 (二十九日鎮南浦發—濟州島)

綾波 (二十九日仁川發—鎮海)

敷、伊六二、伊六一、伊六四 (二十九日吳發—

廣島灣)

夕張 (三十日大湊發—横須賀)

吳竹 (三十日函館發—横須賀)

呂六四 (三十日鎮海發—灣外)

室戸 (三十日吳發—佐世保)

知床 (三十日横須賀發—吳)